

令和7年度 第3回摂津市立別府小学校 学校運営協議会 議事録

令和7年10月14日(火) 18:30~21:00

出席者:

校長、教頭、地域代表、保護者代表、教育委員会事務局職員(オブザーバー参加)、NPO法人担当者(コミュニティ・スクール推進業務CO)

場所:別府小学校

学校からの報告

校長より、9月以降の主な教育活動について報告。

- ・ 社会人トーク(5年):地域や企業の方々から「働くことの意義」を学び、子どもたちは「誰かの役に立ちたい」と考えるようになった。
- ・ 赤ちゃんふれあい体験(2・5年):命の温かさや尊さを体感する学びを実施。
- ・ 修学旅行(6年):「自主・自立・挑戦・平和」をテーマに、平和学習を中心とした活動を展開。
- ・ 運動会の取組:子どもたち自身が演技内容を考え、主体的に練習する姿が見られた。
- ・ 教職員研修:中学校区全体で「生きる教育」について学び合い、9年間を通じた教育の在り方を共有。

児童の様子

- ・ 実行委員や応援団を中心に、自主的な取組が広がっている。
- ・ タブレットを使って練習を工夫するなど、ICT活用も進んでいる。
- ・ 一方で、安心できる居場所づくりを支援する児童支援の取組も継続中。

PTA・地域からの報告

- ・ PTAまつり(10月25日)の準備が進行中。多くのボランティアが参加予定。
- ・ PTA規約改定に向け、会費や報酬制度の見直しを検討。
- ・ 地域行事(11月16日 コミセンまつり)へ出店し、活動を広く発信予定。

今後の取組

- ・ クラウドファンディング実施(11月中旬~)
視聴覚室へのカーペット敷設を目指し、学校運営協議会を主体に地域・企業・卒業生などと連携して進める予定。
- ・ 11月22日 花火大会・保護者意見交換会にて意見を聴取。
- ・ 11月24日 校長が連合自治会でコミュニティ・スクール(CS)について説明し、地域理解の促進を図る。

まとめ

子どもたちの主体的な取組が確実に広がり、地域・保護者と協働する体制が定着しつつある。

今後も「誰もが楽しく幸せに学べる別府小学校」をめざし、学校・地域・PTAが連携して取組を進めていく。